株式会社 緑生研究所　http://www.ryokusei-ri.co.jp

緑生瓦版

2008.07.01
第十五号

タヌキを追いかけて

五月二十三日～二十六日に北海道大学で開催された(社)日本造園学会の平成二十年度全国大会に参加してきました。発表のテーマは「国営昭和記念公園周辺に生息するタヌキの生息地利用」です。二〇〇四年から四ヵ年かけて公園周辺に生息する合計十四頭のタヌキを対象にラジオテレメトリー調査を行い、個体毎の行動圏、日中に利用している休息場、生息環境の選好性についてまとめました。既に同学会に研究論文として受理されています。別刷りをご希望の方は弊社調査部までご連絡下さい。

調査部
金子 賢太郎

緑生研究所って、どんな会社…？
～ 環境保全対策の巻 ～
植物の移植

道路やダムなどの建設事業に先駆けて実施する生物調査において、絶滅危惧植物や希少種などの重要種が確認されることが少なくありません。重要種が改変予定地で確認された場合、保全対策の一環として対象種の移植を実施することがあります。ここでは、移植の流れと実際に移植を行った植物の一部をご紹介致します。（調査部 能勢かおり）

現況調査にて重要種の生育を確認

重要種の生育位置、生育状況および環境の記録を行います。

↓

移植対象種の決定、移植時期・移植方法等の検討

文献・資料調査などにより移植対象種の生態特性を把握し、移植適地を抽出します。必要に応じて現地にて移植個体の再確認・マーキングを実施します。

↓

移植先候補地・移植個体の選定

ササ藪などではササ類の進入を防ぐ防根シートを使用するなど、場所に応じた対策を講じます。

↓

移植地の下準備

施設などにおける保存・増殖や種子保存などの危険回避策を講じる場合もあります。

↓

移植の実施
※1 年草の場合は種子成熟期に種子を採取し播種

消長を含む生育状態の把握を行います。必要に応じて移植地の管理も行います。

↓

モニタリング調査の実施

キンラン
ラン科の多年草。半菌寄生植物で、移植が難しい植物の一つです。

エビネ
ラン科の常緑性多年草。暖温帯の林内に生育します。

ヤマウツボ
ハマウツボ科の多年草。ブナ科などに寄生します。移植が難しい植物の一つです。

リンドウ
リンドウ科の多年草。山野や田の畦などに生育します。

※ 裏面もご覧下さい。

〒182-0026 東京都調布市小島町 2-40-10 桐生ビル２Ｆ
TEL:042-499-7211（代表） FAX:042-487-4334

写真だより

ミズイロオナガシジミ　*Antigius attilia*

6 月ごろ雑木林で見られる小型の蝶で、都内の公園などにも生息しています。天気のよい朝や夕方には、樹上を活発に飛び交う雄の姿を見ることが出来ます。

テイカカズラ　*Trachelospermum asiaticum*

照葉樹林のなかを這って生長する平面期と樹幹を登り生長する垂直期の 2 つの時期があります。写真のように花を咲かせるのは垂直期になって明るい日の光を受けるようになってからです。

アンケートのお願い！

Q.「緑生瓦版」のなかで取り上げてほしい内容や、ご意見、ご感想などを教えて下さい。

差し支えなければ、会社名、所属、氏名をお教え下さい。

会社名：　　所属：　　氏名：

ご協力ありがとうございました。
恐れ入りますが、アンケートの回答は、緑生研究所（坪山）宛に FAX（042-487-4334）でお願いいたします。

編集後記

お読みいただき、ありがとうございました。

第十六号は、九月一日の発行を予定しています。特集では『マイナーな生物調査』として、クモ類の生態や調査手法などを紹介します。お楽しみに…

コラム

暑い夏の日、無性に飲みたくなるもののひとつに「ラムネ」があります。中身はただの炭酸飲料なのに、それ以上の涼しさを感じるのは、あの独特の色と形のせいでしょうか。子供の頃は、どうやってビー玉で栓をするのか不思議でしたが、大人になってからは、こんなすごい事をいったい誰が考えついたのかということが気になっています。その答えは…

Tu